

令和2年7月10日

会員各位

一般社団法人 日本生殖医学会

理事長 大須賀 穰

(公印略)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対する日本生殖医学会からの通知

～海外の動向について～

(2020年7月10日版)

日本生殖医学会では、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対して令和2年4月1日付、5月18日付の2回、本会会員に向けて文書を発出いたしました。現時点におきまして5月18日付の通知において新たな変更はありません。一方で、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の状況は日々変化しており、本会では会員の先生に定期的な情報発信や提供も進めてまいりたいと考えております。つきましては、今回は、5月末に出されております海外における共同声明を以下にご紹介いたします。原文は

<https://www.eshre.eu/Press-Room/ESHRE-News#COVID19Joint>

でございます。

また、WHO および関連学会の声明も随時更新されていますので、下記 URL もご参照ください。

WHO <https://www.who.int/emergencies/diseases/novel-coronavirus-2019>

日本産科婦人科学会 http://www.jsog.or.jp/uploads/files/news/20200407_COVID-19.pdf

IFFS <https://www.iffsreproduction.org/page/COVID-19>

ESHRE <https://www.eshre.eu/Press-Room/ESHRE-News>

ASRM <https://www.asrm.org/news-and-publications/covid-19/>

ICMART <https://www.icmartivf.org/news/>

2020年5月29日

生殖医療と新型コロナウイルス(COVID-19)

ASRM、ESHRE、IFFS による共同声明

代表者:

Anna Veiga – 欧州ヒト生殖医学会 (ESHRE) / スペイン

Luca Gianaroli – ESHRE / イタリア

Steve Ory – 国際生殖医学会 (IFFS) / 米国

Marcos Horton – IFFS / アルゼンチン

Eve Feinberg – 米国生殖医学会 (ASRM) / 米国

Alan Penzias – ASRM / 米国

生殖医療における原理原則

生殖とは、人種、性別、性的指向、または出身国を問わず、欠くことのできない人権です。不妊症は生殖能力の障害で、生殖可能年齢のカップルの8~12%がこれに悩まされており、身体的および精神的な健康を害する深刻な疾患です。不妊症には時間的な制約が関わり、予後は年齢とともに悪くなります。たいていの原因には治療法がない一方で、不妊症自体はほとんどの場合治療可能で、患者の大半が最終的には子どもを授かっています。

今回の問題の定義

COVID-19 の世界的大流行(パンデミック)は、かつてない規模で世界が危機に直面するという特異な状況となっています。感染率および死亡率はこれまでのパンデミックよりも高く、この感染症はほとんどすべての国で発生しています。増殖と感染の状況は地域によって大きく異なり、現在のところ、完全に終息する見通しは不明です。パンデミックの最も初期段階に、米国生殖医学会 (ASRM) と欧州ヒト生殖医学会 (ESHRE) は独自に、最も緊急の場合を除き生殖治療を中断するよう勧告しました。最近になって、一部の地域で緩和戦略が成功し、新たなデータも報告されている状況であることから、社会では全面的な生殖治療の段階的かつ慎重な再開が認められてきています。この文書では、**ASRM と ESHRE、国際生殖医学会 (IFFS) が結束し、共同で、COVID-19 のパンデミックが発生中の生殖治療の継続の重要性について確認するものです。**

生殖医学の必要性

生殖医療は社会の幸福と、多くの国で低下しているといわれる出生率を維持するために不可欠のものです。パンデミックの間、生殖医学の専門医は次のことを継続することが望まれます。

1. 患者の心身の幸福を擁護すること。
2. 有病率や政府の状況、国の規制、リソースの利用可能性など、地域の状況を観察、追跡すること。

3. 治療の再開に先立ち、各診療施設内で先を見越したリスクアセスメントを実施すること。
4. 治療の優先順位を付け、医学基準に照らして、限られたリソースの利用を慎重に配分すること。
5. 診断や治療の延期などを含め、すべての選択肢について患者に助言すること。
6. 積極的なリスク緩和策を徹底し、ウイルスの感染拡大リスクを低減すること。
7. 患者とスタッフの安全を最大化するとともに、治療の提供能力を確実にするための明確かつ体系化された計画を策定すること。
8. 新たな医学的所見に関する情報を常に取得し、現状を把握しておくこと。
9. しっかりとした緊急時計画を策定または改善すること。
10. 中断するのが正当な状況の場合に、治療を中断する準備ができていないこと。

さらなる研究の必要性

生殖医学の実務とは、患者の支援に加え、データを収集し、COVID-19 研究に役立てるという独自の立場に立脚しています。

1. 生殖医学の専門医と診療施設は、医療現場での臨床検査データの収集(Point-of-Care data collection)を通じて、有病率および患者とその子に対する COVID-19 の影響をスクリーニング、観察、評価するために欠かせない最前線のリソースです。
2. ESHRE、ASRM、IFFS は、COVID-19 が配偶子と生殖組織に与える影響について継続的な観察、追跡に取り組んでおり、パンデミックの間に感染した妊婦患者のデータを収集し、母体と新生児に関する結果を評価しています。
3. 以下はこれらの研究とレジストリ(登録システム)の例です:
 - a. 米国においては、ASPIRE (Assessing the Safety of Pregnancy In the Coronavirus Pandemic) Study(コロナウイルスの世界的大流行における妊娠の安全性についての評価)研究が、パンデミックにおける妊婦とその子に関する全国的な前向きコホート研究です。3月1日から12月31日までの期間に、生殖医学専門医の治療を受け、自然妊娠または生殖補助医療(ART)により妊娠したすべての患者が参加を促されます。
 - b. ESHRE は、感染が確認された女性における不妊治療全般(Medically Assisted Reproduction (MAR*)) (<https://nl.surveymonkey.com/r/COVID19ART>)の結果についての症例報告を世界的に収集しています。
 - c. ASRM の関連組織である生殖補助医療協会(SART)は、その臨床結果報告システム(CORS)の ART レジストリにおいて COVID-19 関連の質問を必須にしており、これは米国における全 ART サイクルの 95%を占めます。
 - d. ESHRE はパンデミック中の MAR 及び ART の動向に関してデータを収集し、治療の提供を停止したか否か、(停止した場合は)いつ治療を停止し、いつ再開したかを国別にマッピングしています。

e. IFFS は、MAR および ART 治療の利用における世界的な傾向を評価するために、COVID-19 関連の定期的な調査を実施しています。

結論

生殖治療は欠くことのできない重要なものであり、生殖医学専門医は健康と幸福の促進において独自の立場にあります。また、ASRM、ESHRE、IFFS は協力して患者を支援するとともに、生殖、妊娠、胎児や新生児への影響という点に関して COVID-19 の理解を高めるためのデータおよびリソースを収集しています。これらの経験から得られた教訓は、人類が今後パンデミックに対処する際に有益なものとなるでしょう。

補足

Medically Assisted Reproduction (MAR)の定義; 排卵誘発、ART 処置、夫/パートナーまたはドナーの精液を用いた子宮内・子宮頸管内・腔内への人工授精の医学的な補助を行う生殖医療) (出典: International Committee for Monitoring Assisted Reproductive Technology (ICMART) and the World Health Organization (WHO) revised glossary of ART terminology, 2009. Fertil Steril. 2009;92(5):1520–1524. doi:10.1016/j.fertnstert.2009.09.009)。